

広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想

●夏の時期に緑のカーテンを活用したエコライフの推進

田原市では、夏の省エネルギー対策の一環として、エアコンによる電気使用量の削減などにつながるゴーヤやアサガオなどでできた緑のカーテン設置を推進し、市民に対して、エコライフの普及・啓発を行っています。

今年も、市内の保育園および幼稚園（20園）、小学校（8校）、中学校（3校）、市民館（9施設）、その他施設（17施設）の計57の公共施設で実施しました。

近年は公共施設だけでなく、市内の住宅や事業所にも立派な緑のカーテンがみられるようになりました。



●堀切市民館 緑のカーテン



●東部保育園 緑のカーテン

一度緑のカーテンを設置すると、その効果を実感して翌年度以降もさらに工夫を凝らし、より効果的な緑のカーテンを設置する傾向があるようです。

また、各保育園や小中学校では、緑のカーテンの成長を記録するための観察会を行ったり、アサガオの花を使った色水遊びをしたり、育てたゴーヤの実を地域に配るなど、様々なイベントを開催し、楽しみながらエコライフについて学んでいます。

●たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人2278人・事業所88カ所（8月末現在）

▼エコエネ推進課

☎23局7401 FAX23局0180

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

環境戦隊たはらエコレンジャー

16



ゴミゴミとリサイクルレンジャー

田原市では、ごみ減量化の一環として平成21年度からレジ袋を有料化しています。今回は、レジ袋削減の成果などについてお知らせします。



◆平成24年度の成果

レジ袋購入辞退率87・5%

レジ袋削減枚数564万7349枚

◆レジ袋削減のメリット【平成24年度実績】

●ごみの減量化

●L判のレジ袋1枚は9・9g

【ごみ量5万5909kgの削減】

※1世帯から出るごみの48年分の

量に相当します。

●石油資源の節約

●レジ袋1枚の生産に必要な石油量は18・3ml

【石油約103kl（ドラム缶516

本分に相当）の節約】

●地球温暖化の抑制

●レジ袋1枚の製造および焼却による

CO2の排出量は約60g

【CO2約600tの削減】

◆レジ袋削減の協定締結店舗

イオン田原店、酒蔵トウカイ、ジツ
ブドラッグ赤石店・田原赤石薬局
赤羽根店・渥美薬局、スギ薬局田
原店、スーパーカネイチ、田原コー
プ(株)磯田園・フレッシュミート、
田原めつくんはうす、パワーズ田
原店、フードオアシスあつみ田原
店・福江店、ヤマナカ田原店
●有料化によるレジ袋削減の趣旨を
ご理解いただき、参加を希望され
る事業者を募集しています。詳し
くは、市ホームページをご覧ください。
さい。



レジ袋削減の取り組みは、皆さんの意識次第で実践できる身近なエコの一つです。使い捨てのライフスタイルを見直し、マイバックでの買い物始めてみてはいかがでしょうか。

▼清掃管理課

☎23局3538 FAX23局0180

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>